

リハ日和

2022 JANUARY vol. 25

住み慣れた土地で 生き生きとした暮らし

DAI2 NARITA
MEMORIAL
HOSPITAL



2022年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。リハビリ室長の後藤健一と申します。

今回2022年最初のご挨拶を述べるという大役を仰せつけかり大変恐縮しております。

学生時代より国語は大の苦手な完全な理系頭ですので、乱文をどうかお許しください。

2021年はコロナや自然災害など暗いニュースばかりでしたが、今年は明るいニュースが増えるといいですね。そういえば、名古屋の青いユニホームの球団の監督が替わりました。ここ数年低迷を続けているので是非強いチームを作り上げ、この地方を盛り上げていただきたいと思います。しかし、最近では北海道の某球団の新監督（ビッグボス？）のほうが有名になってしまいました…。

さて当院は本年9月に、リハビリテーション医療を専門とする病院として開院17年目となります。リハビリテーション医療は一般的な医療と異なり、患者様の活動

や動作、生活を標的課題とする大変特異的な医療です。また外科処置等ではなく、活動により動作や生活の問題点を解決していきます。これだけだとよく分からないので、脳卒中の患者様を例に挙げて説明してみましょう。

脳卒中に対するリハビリテーションの方法として大きく2つあります。1つ目は機能障害の改善、つまり麻痺した手足を鍛える等といった悪いところを直す方法です。2つ目は悪いところは代償手段を使って補助する方法です。道具や環境調整で補助する、または麻痺があるなりの動作を練習して、動作を習得する方法です。このような手段を使って再びその方らしく生活できるように支援していくことが我々のミッションになります。

「リハビリテーション」、直訳すると「再び出来るようになること」。私たちはこれからも、患者様の生活の再構築を支援するという役割を精一杯果たしていく所存です。本年もよろしくお願い申し上げます。

リハビリ室長 後藤健一



異動者紹介



看護師
稲熊 彩華

7月より本院から異動してきました稲熊です。本院では救急などの急性期に関わってきました。今回、回復期病棟で患者様を見る中でどんどん回復する様子にいつも驚かされています。患者様を見ていて患者様、家族の思いを含め退院するにはどんな看護が必要か考え関わっていきけるようにしたいです。わからないことが多くご迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願いします。



看護師
下登 瑞沙

7月に本院の透析室からCチームに異動してきました。透析室と病棟では業務・看護内容が全く違うため一から学ぶ気持ちで先輩方から日々教えて頂いています。回復期の患者さんがありハビリに懸命に取り組む姿は心打たれるものがあります。私もそんな患者さんを支え、療養生活をサポートできる一人前の看護師になれるよう頑張りたいと思います。



看護師
島田 日菜

7月からCチームに配属になりました。まだまだ慣れないことばかりですが、4階病棟のスタッフの方々に助けていただきながら日々業務に取り組んでいます。急性期と比べると患者さん一人ひとりとじっくり関わることができ、リハビリを通して回復へ向かっていく患者さんの姿を見て私自身も刺激を受けています。患者さんやご家族に寄り添った看護を提供できるよう、これからも頑張りますのでよろしくお願い致します。



社会福祉士
常盤 宣美

成田記念病院にて約8年間社会福祉士として働かせて頂き、11月からこちらへ異動してまいりました。新しい環境でソーシャルワーカーとして働かせて頂く中でまだまだ勉強不足だな、と感じることも多々ありますが、新たな出会いや学びも多く嬉しく思っております。急性期病院での経験を活かし、一人でも多くの患者様が安心して笑顔で退院できるよう退院支援を行っていききたいと思っています。よろしくお願い致します。

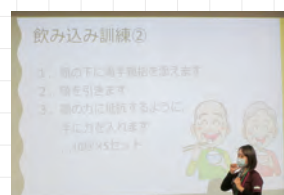
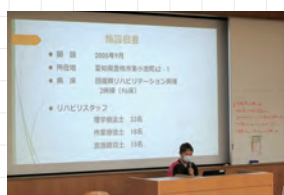
公開講座

2021年11月13日に豊橋創造大学で開催されている特定研修施設との連携講座の1つとして、私と大内、今泉、中村の4名で講師を務めさせて頂きました。

テーマは「自由に外出できる日のために」ということで運動と認知、嚥下の3つの項目に分け、参加者の皆様と機能のセルフチェックを行ったり、予防方法を実際に行ったりしました。

身体は使わないでいると思っている以上に機能が低下していることがあります。以前に比べると外出しやすくなり、イベントも再開されるようになっていますが、感染対策はきちんと行わなければならないので以前と同じ生活に戻るのはまだ時間がかかると考えられます。ぜひ日常生活に運動や人との交流、趣味活動などをプラスして、今できること、楽しめることを行っ

理学療法士 杉山 誠美



放射線科紹介

診療放射線技師 山口 良美

診療放射線技師の山口と申します。普段は入院患者様のレントゲン撮影、嚥下造影検査に従事させて頂いております。患者様の痛みや負担を最小限とし、医師の診断に役立つ正確な写真を撮影することをモットーとしております。また、毎日リハビリ室へ向かう患者様が季節を感じられるよう、レントゲン室の入口にデコレーションなどをして工夫しています。検査のない時間は、事務所にて受付等のお手伝いをさせて頂いております。検査や被ばくのこと、第二病院のことなど世間話も大好きなので何でもお気軽にお声掛け下さい！



お世話に
なってます

委託業者紹介

株式会社 昭和クリーナー

昭和クリーナーは、昭和53年設立以来30数年、愛知県、静岡県、長野県内で清掃事業を展開し、現在では官公庁をはじめ、医療法人、民間企業など高品質なサービスを提供し、近年、医療制度、社会保障制度の急速な変革が叫ばれるなか、病院清掃分野では平成5年に自社独自で昭和CHCS（昭和クリーナー・ホスピタル・クリーニングシステム）を確立。徹底した人材教育、衛生、清潔な環境を考慮した資機材、カラーコントロールなどのノウハウを駆使したサービスで病院様、患者様にとりまして安全、安心な空間を提供するものです。

また「医療関連サービスマーク設定」を受け、さらに品質を維持向上するため「ISO9001」の取得など現状に甘んじることなく外部からの監視システムにより日々さらなる改善に努めてまいります。



第二成田記念病院の職員様と共に早10年の月日がたちました。その間さまざまなご指導や励ましのお言葉を皆様よりいただき、私たち従業員一同ここまで進んでくることが出来ました。これも職員様や患者様のおかげと感謝いたしております。これからも職員様や患者様にとって居ごちの良い空間づくりに努めてまいりますので変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

趣味

僕・私の

趣味

言語聴覚士
白井 厚樹



言語聴覚士の白井です。自分の趣味は海釣りです。魚によって竿や仕掛け、エサを変え、狙うポイントを変え…そういった工夫を繰り返し、狙った魚を釣り上げた時は思わず声を上げてしまうほどに嬉しいです。魚が釣れない事もありますが、海を見ているだけでもリラックスできます。釣った魚の多くは捌いて食べられることも大きな魅力です。特に海の魚はおいしいものも多く、初心者でも釣りやすい魚もたくさんいます。コロナ禍で外出しづらい状況ではありますが、自然の中で楽しめる釣りは比較的チャレンジしやすい趣味だと思います。ご興味がある方はぜひ体験してみてください。

介護福祉士
河合恵利奈



行動に制限ができ二年になりますが少し落ち着いて来たので新鮮な空気を吸いに山へ行ってきました。登山が一番の趣味という訳ではないですが気候がよい時はなぜか足が向きます。限られた荷物を背負い不便も楽しみながら山頂を目指しやっとの思いで登頂できた時の達成感と山頂で飲むコーヒーが最高でした。

ストレスを感じた時は高い場所に身を置くのが良いと聞いた事があります。旅行などに行ける日がいつになるか分かりませんが山に登ってみたり、眺めの良いお店で食事をしたりと自分なりにケアをし心の健康を保てるよう過ごしていけたらと思います。

編集後記



新年あけましておめでとうございます。今年のお正月はいかがでしたでしょうか？新型コロナウイルス感染症が始まって、2年が経過しました。当院も感染症対策で常に緊張感を持ち、気を緩められない日々が続いております。

コロナ禍の暗い出来事ばかりの中、エンゼルスの大谷選手がMVPを受賞したりと明るい話題もありました。今年はどんな出来事が待っているのでしょうか。今年もより良い医療を届けられるよう、精進してまいりたいと思います。

最後に、皆様にとってより良い年になることを願っております。

事務主任 松本 昂大

病院基本理念

「人としての尊厳」と「自分らしさ」を根源に、
住み慣れた土地での生き生きとした暮らしへの復帰を支援します。



社会医療法人 明陽会

第二成田記念病院

〒440-0855 豊橋市東小池町62-1 TEL.(0532)51-5666
http://www.meiyokai.or.jp/narita2/ FAX.(0532)55-0660